

「高工専高野林業、精の選抜2世紀杯推薦校に！」
 原高は10月26日再開
 生徒数705人が
 397人に！
 相親は11月4日
 再開
 325人が
 230人に！

○ **はらまち九条の会** へはどなたでも入会できます。超党派で憲法、特に第9条を護ろう、憲法を尊重しようという会で、何の拘束もありません。結成は2005年12月。会員は原町だけでなく全国各地に411名。年会費千円です。震災後、入会者が微増しています。

九条はらまち

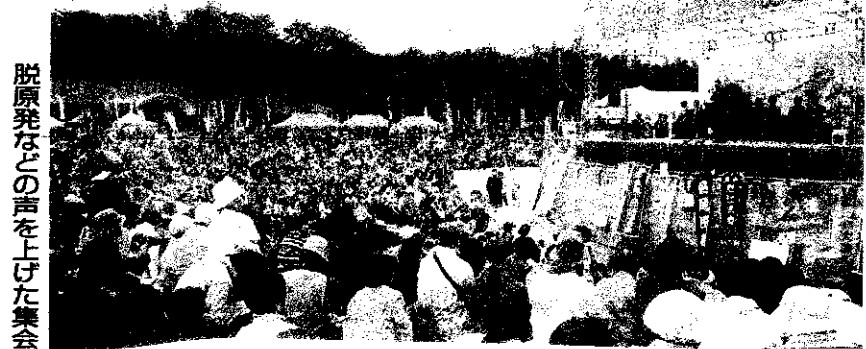
「はらまち九条の会」会報 No.176
 2011(平成23)年11月 3日(木)発行

○65年前の1946年11月3日は、日本国憲法「公布」の日で、「文化の日」。
 この日は本来は明治天皇の誕生日で、戦前は「明治節」「天長節」とよばれていた。
 国民の祝日は、天皇に関わる日や皇室の行事から採用されているものが多いようです。



なくせ！原発、安心して住み続けられる福島を！10・30大集会inふくしま

■十月三十日(日)、福島市では比較的放射線量の低い西部の「四季の里」で、「反原発大集会」が開催されました。全国から一万人以上が集結。原発設置前から反原発運動を行ってきた早川篤雄さん、また佐藤栄佐久前知事、菅野典雄飯館村長の挨拶は特に感銘を与えた内容でした。
 ■本「九条の会」会員もたくさん参加していましたが、事務局からは石田賢二、山崎健一が参加し、五百名の除染署名を集めました。



脱原発などの声を上げた集会

北海道から沖縄まで
 全国から自主的に
 参加！署名まで分りました

10月31日 福島民報より

全国から1万人 脱原発を訴える

福島で集会

安心して住み続けられる福島を目指す「10・30大集会inふくしま」は三十日、福島市の四季の里で開かれ、全国から集まった約一万人が放射性物質から子どもを守ることや脱原発への声を上げた。実行委員会の主催。呼び掛け人の橋本町の住職早川篤雄さんが「放射線被害から子どもたちを守るために闘い続ける」とあいさつした。徹底した除染や原発事故で発生した被害・損害の全面賠償、本県原発の廃炉の実現に向けて結束を固めた。庄條徳一J A福島中央会長、馬場有澄江町長、菅野典雄飯館村長、佐藤栄佐久前知事、志位和夫共産党委員長も登壇し、それぞれの立場で思いや意見を述べた。参加者は二つのグループに分かれ、のぼり旗やプラカードを手に「なくせ原発」「全面賠償」などとシュプレヒコールを上げながら会場周辺をパレードした。

大集会に参加して 「南相馬市から参加しました」の声に温かい反応が

会場に向かう車窓から見える飯館の村里は、静かな眠りにつき、神隠しにあったかのように人の姿を見ることができなかった。

大会への参加は南相馬市民の一人として、北海道から沖縄、全国各地から集まってくれる人たちへの感謝の思いからでした。3月11日を境に、自然の恵みを奪われ、安らぎの日常も、自由も奪われ、数え切れないものを失った。

会場いっぱい集まった一万人を超える人たちの熱い思いは、ひとつとなって、意見交換の輪は会場いっぱい拡がっていく。ここでも、「南相馬から」の声に即座に様々な温かい反応があった。

浜岡原発周辺で今おこっていること。既にご存知のように、スズキ自動車工場のある町議会が、再稼働に反対の議決をしたことによって、他の町と不協和音が鳴りだした。賛成派、反対派、共に根っ子にあるものは経済効果なんですね。「どうか、子ども達の命を守る為、人間の尊厳を守る為、という視点を拡げて行って下さい。フクシマの現状から学べば、その二つのことが理解してもらえると幸いです。」と言う私の手を固く握りしめ「ありがとう」と涙目で力強く言ってくれた。

その後、会場の四季の里周辺をパレード、「子どもの命を守れ」「福島から原発をなくせ」等々、アピールパレードは各県ごとに力強く歩み始める。乳母車を押すお母さん、孫に手を引かれたおばあさん、心をひとつに進むパレードが夢の中の出来事ならば、事務局長の山健さんと共に、南相馬市まで誘導して行きたいのだが。(事務局 石田賢二)



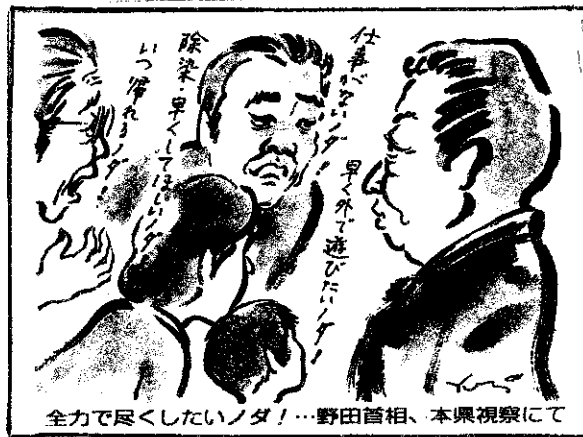
今、不安なこと九か条

＜事務局より＞

- ①憲法改正案の審議を行う「憲法審査会」が10月21日初会合を開いて、憲法改正を議論する環境ができました。まさに「9条」を変えて「戦争の出来る国」にする動きです。
- ②武器輸出3原則が緩和されようとしています。経済優先で「平和憲法」の精神を蔑ろにするものです。
- ③脱原発どころか、ベトナムなどに原発を輸出しようとする国・日本。
- ④航空自衛隊は新しい戦闘機（1機120億円）を約40機約1兆円で買うそうだ。松島基地では津波も防げないで戦闘機が流された。敵機襲来から守れるの？
- ⑤「原発は潜在的核抑止力」と堂々と言う政治家。核兵器製造のためにも原発はなくせないそうです。日本の核武装を真剣に考えているなんて。
- ⑥「福島県も南相馬市も全原発の廃炉宣言」を議会で行ってほしい。何を恐がっているのか、やはり東電が怖いのか。
- ⑦除染も放射性廃棄物の処理費用も第一原因者の東電が払うのが筋だし、我が家の放射能を早く持って行け！
- ⑧緊急時避難区域解除と除染完了が逆になってる。不安で帰れません。
- ⑨低線量でも内部被曝について、東電は傷害罪で告発されるべきだ。



東電の真似
朝倉 悠三 (朝倉美術協会)



今年に避難している人も多く、これから冬になって雪が心配です。波通りは雪がないので...

「福島民衆」に連載中の朝倉悠三さん(画家・鹿島区)の「震災絵日記」②です。朝倉さんは全津若松市に避難中ですが、十一月二十三日、会津大宮で開催の「会津工シンソク」の講師に選ばれています。

事務局より

◆2種の署名は、さらに延長して集めたいと思います！集まり次第、事務局井上までお届けください。

- ① 除染で子どもたちが安心して暮らせるまでに署名 ○最終〆切11月30日
- ② さようなら原発一千万署名 ○来年2月まで、全国規模で行われます。

南相馬市民よりも、市民以外の全国からの署名が多くなっています。南相馬7万市民の盛り上がりが見られます。また「署名活動」や「九条の会」そのものをすぐに、政党や思想やイデオロギーの問題と見てしまい、忌避する傾向があります。それこそが為政者や電力会社の思うつぽで、「被害者が同時に支持者」になってしまう日本の政治の悲劇の一面だそうです。



◆今年2011年の本会会費は徴収いたしません。ただしカンパは、シッカリ？いただくことにしています！来年1月早々から、恐れ入りますが、会費の徴収を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。(会計係・井上)

はらまち九条の会 事務局連絡先

- 会長：平田慶彦 TEL0244-24-1211
- 会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
- 石田賢二 TEL22-4037 ○早坂吉彦 TE22-0326
- 番場恵子(市外に避難中)
- HP担当：大浦祥晃(原町区)・佐藤喜彦(八王子市)
- 事務局長：山崎健一 TEL090-7527-5453 (神奈川県に避難中、〒213-0033川崎市高津区下作延4-26-43-505 E-mail:yamazakiken1@gmail.com)

◆11月8日事務局会を開催し、①署名活動、②12月・1月の活動、③会報174・175・176号の検討を行いました。また本会ホームページで海外向けに英文で除染署名を訴える予定です。

その後、山崎が避難先から一時帰宅していたので、早めの「事務局忘年会」を行っていただきました。久々に楽しい会でした。

◆つくづく会報の編集は難しいな、と思います。どうすれば読んでもらえるのか、文字を大きくすっきり紙面にしたいな、きちんと「九条の会」の立場で編集しなければ、などと反省しています。

この号で今年の会報は最終号です。今年2011年は本当に大変な年でした。「運命はその人の性格が作る」(小林秀雄)の言葉もあるそうです。考え方を変えたり、元気を出しましょう。(山崎)